



## はじめに

---

- [はじめに](#) (1 ページ)
- [新機能および変更された機能に関する情報](#) (1 ページ)
- [対象読者](#) (2 ページ)
- [本書の構成](#) (2 ページ)
- [表記法](#) (3 ページ)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート](#) (3 ページ)

## はじめに

IM and Presence Service の予定表統合では、Microsoft Outlook の予定表および会議のステータスを IM and Presence の在席ステータ스에組み込むことができます。

## 新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、この最新リリースまでのガイドでの機能の主な変更点の概要を示したものです。ただし、今リリースまでのガイドにおける変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 1: *Unified Communications Manager* と *IM and Presence Service* の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先	日付
リリース 14 のマニュアルの初回リリース	—	—	2021 年 3 月 31 日
リリース 14SU1 のマニュアルの初回リリース	—	—	2021 年 10 月 27 日
リリース 14SU2 のマニュアルの初回リリース	—	—	2022 年 6 月 16 日

## 対象読者

この出版物は、IM and Presence Service との Microsoft Exchange の統合を設定および管理する経験豊富なユーザーを対象としています。

## 本書の構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章	タイトル	説明
1	はじめに (1 ページ)	この章には、本書の構成、対象読者、このガイドの目的に関する情報が含まれています。
2	概要	この章では、IM and Presence Service 向けの Microsoft Outlook 予定表統合機能の概要が説明されています。
3	新機能および変更された機能に関する情報 (1 ページ)	この章では、新機能および変更された機能に関する情報について説明します。
4	予定表統合の計画	この章には、予定表の統合を計画するための、前提条件に関する情報が含まれています。
5	Microsoft Exchange の設定	この章は、Outlook の予定表統合のためにオンプレミスの Microsoft Exchange Server に接続する場合にのみ参照してください。この章では、統合のために Exchange Server を設定する方法について説明します。
6	Microsoft Office 365 の設定	この章は、Outlook の予定表統合のためにクラウドでホストされている Office 365 サーバーに接続する場合にのみ参照してください。この章では、統合のために Office 365 サーバーを構成する方法について説明します。
7	IM and Presence Service の設定	この章は、Outlook の予定表統合のために IM and Presence Service を設定するために参照してください。オンプレミスの Exchange Server かクラウドでホストされている Office 365 サーバーのどちらに接続しているかに関係なく、この章を使用してください。
8	Exchange カレンダー統合のトラブルシューティング	この章では、トラブルシューティング タスクと一般的な問題の修正について説明します。

## 表記法

このマニュアルでは、以下の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンド、キーワード、およびユーザーが入力するテキストは <b>太字</b> で記載されます。
イタリック体フォント	文書のタイトル、新規用語、強調する用語、およびユーザーが値を指定する関数は、イタリック体で示しています。
courier フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、courier フォントで示しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報やこのマニュアルに記載されていない参照資料を紹介しています。



ヒント 「問題解決に役立つ情報」です。ヒントには、トラブルシューティングや操作方法ではなく、ワンポイントアドバイスと同様に知っておくと役立つ情報が記述される場合があります。



注意 「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカルサポート、その他の有用な情報について、毎月更新される『更新情報』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』はRSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。